

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

| | |
|-------------------|--|
| 研究課題名 | 脳血流と大動脈弓離断複合および大動脈縮窄複合との関係 |
| 当院の研究責任者 | 新生児科 梶川大悟 |
| 他研究機関および各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | <p>出生前診断の精度の向上とともに、先天性心疾患の多くは出生前に診断されるようになりましたが、依然として、出生後に診断される症例も少なくありません。しかし、出生時、大動脈弓離断複合や大動脈縮窄複合などの先天性心疾患の診断に苦慮することもあります。</p> <p>これまで診断を支持する先行研究として、先天性心疾患と出生前の脳血流との関連を報告した研究は散見されますが、出生後の脳血流との関連を報告した研究はほとんどありません。</p> <p>本研究は出生時の脳血流を評価し解析を行い、大動脈弓離断複合および大動脈縮窄複合と関連があるか検討します。</p> |
| 該当期間・対象者 | <p>対象者：2013年1月1日から2019年12月31日に当院 NICU に入院した在胎 34 週以上の新生児のうち大動脈弓離断複合または大動脈縮窄複合と診断された新生児</p> <p>2019年1月1日から2019年12月31日に当院 NICU に入院した在胎 34 週以上の心疾患を有さない新生児</p> <p>除外基準：大動脈弓離断複合または大動脈縮窄複合以外の心疾患を有する新生児、日齢 1 以降に入院した新生児、脳血流が評価されていない新生児</p> |
| 研究の方法 | 診療録にある出生時の情報や母の情報、超音波検査の情報など収集します |
| 他機関への情報提供 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 研究成果は医学の発展ために学会や学術論文で公表させていただくことがありますが、個人情報はすべて匿名化して解析されますので、特定されることはありません。 |
| 利益相反 | 申告すべき利益相反はありません |
| 問い合わせ先 | 茨城県立こども病院 新生児科 梶川大悟 電話（代表）：029-254-1151 |
| 備考 | |